

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス	期	前期
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	2	授業形態	講義 100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

**【科目の到達目標】**

アパレル商品の取扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深め、アパレル業界で素材を扱うことのできる人材の育成を目指す。

**【科目の概要】**

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。繊維ごとにその特性をまとめながら、素材の機能性を理解。またその洗濯・取扱い方法などを修得する。アパレル商品の取扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深めていく。

**【授業計画】**

90分/コマ

- |      |   |
|------|---|
| 第1週  | オリエンテーション<br>ファッショントレンドと素材・アパレル製品の流通経路    |
| 第2週  | ↓   |
| 第3週  | ■家庭用品品質表示法 品質表示の見方<br>■繊維の種類と特性・取扱い方法について |
| 第4週  | 天然繊維・植物繊維(1)綿                             |
| 第5週  | 天然繊維・動物繊維(1)毛                             |
| 第6週  | 天然繊維・動物繊維(2)絹                             |
| 第7週  | 化学繊維(1)再生繊維                               |
| 第8週  | 化学繊維(2)半合成繊維                              |
| 第9週  | 化学繊維(3)合成繊維                               |
| 第10週 | 繊維の特性と取扱方法 まとめ                            |
| 第11週 | ■繊維に求められる機能と着心地<br>(生地加工・機能性について)         |
| 第12週 | ■生地の種類(織物・編物)について<br>織物の代表的な組織とその特徴       |
| 第13週 | ■糸の種類と太さ                                  |
| 第14週 | 総復習(テスト傾向と対策)                             |
| 第15週 | 総合テスト                                     |

**【成績評価方法】**

課題提出物 60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』、ファッション教育社、2012年
- ・田中道一『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

**【教材・教具】**

- ・筆記用具

**【実務経験の内容】**

大手テキスタイルメーカーで企画に携わり、現在もアパレル商品の素材企画等に取り組んでいる経験を活かし、服飾素材の基礎的な知識を講義する。